

## 2-3 バス交通の利用と収支状況（市民バス・事業者路線等バス）

- ・白石市内のバス交通である「市民バス路線（9路線）」、「事業者路線等（3路線）」、および乗合タクシー（2路線）における利用者数と収支状況について、次頁以降に示します。

### 【市民バス路線（9路線）】

路線	起終点
越河線	公立刈田総合病院～越河清水
白角線	公立刈田総合病院 ～柳沢公民館
大張線	公立刈田総合病院 ～大張公民館
三本木線	城下広場～牧場入口
福岡線	城下広場～弥治郎こけし村
白川線	内親生活センター ～公立刈田総合病院
	家老沢～城下広場
大網線	城下広場～大網
小原線	白石蔵王駅～江志前
	白石蔵王駅～材木岩公園
薬師堂線	城下広場～薬師の湯

### 【事業者路線等（3路線）】

路線	運行主体	起終点
白石遠刈田線	(株)ミヤコーバス	白石蔵王駅～ 宮城蔵王ロイヤルホテル
		蔵王刈田山頂 (季節限定運行)
七ヶ宿町営バス 七ヶ宿白石線	七ヶ宿町	七ヶ宿町役場～ 白石蔵王駅
スパッシュランド 送迎バス	公益財団法人 白石市文化 体育振興財団	白石駅～ スパッシュランド

### 【乗合タクシー（2路線）】

路線	起終点
緑が丘線	緑が丘市営住宅前～城下広場
小久保平線	小久保平集会所～城下広場

## (1) 市民バスの利用状況

- 越河線、白角線、大張線、福岡線の乗車人数はH27に増加しております。
- これはH27.4の病院バス廃止に伴い、公立刈田総合病院まで直通で行けるように延伸したことが大きな要因です。
- その他の路線は乗車人数が横ばいまたは減少傾向となっております。

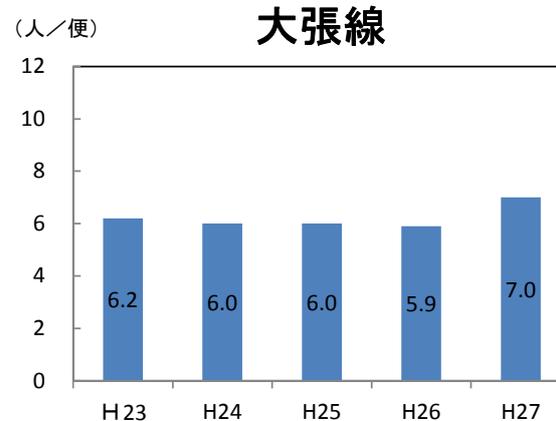
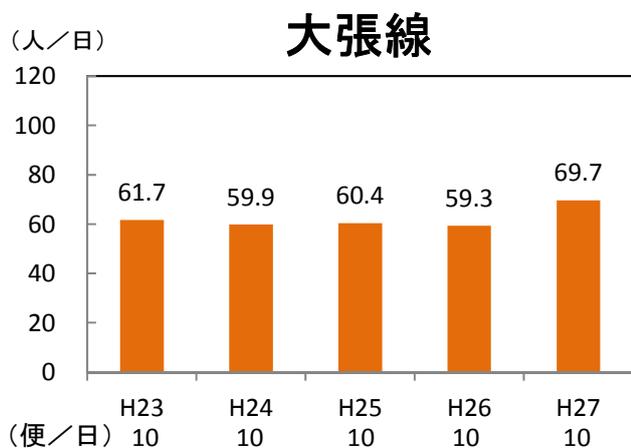
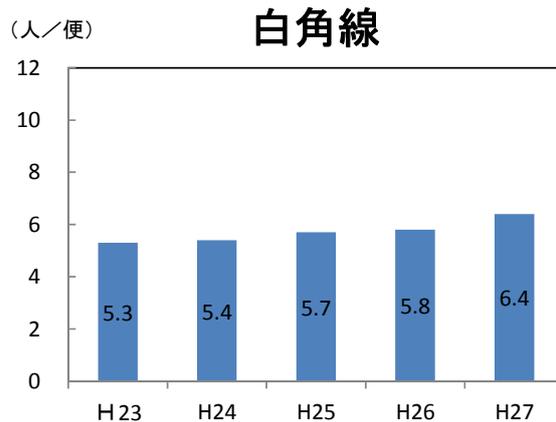
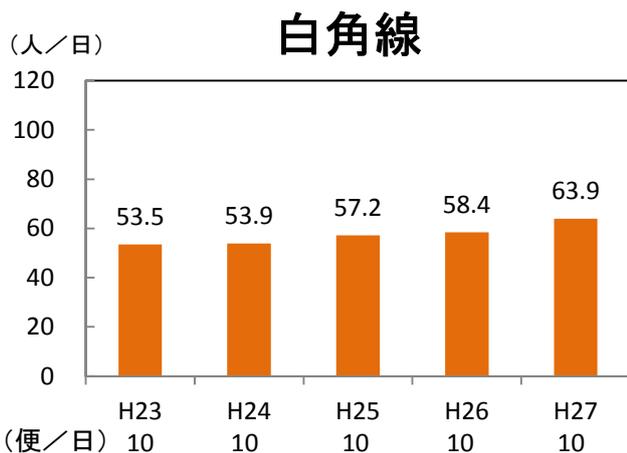
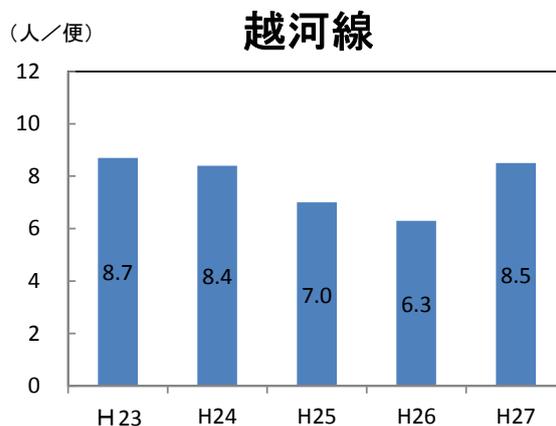
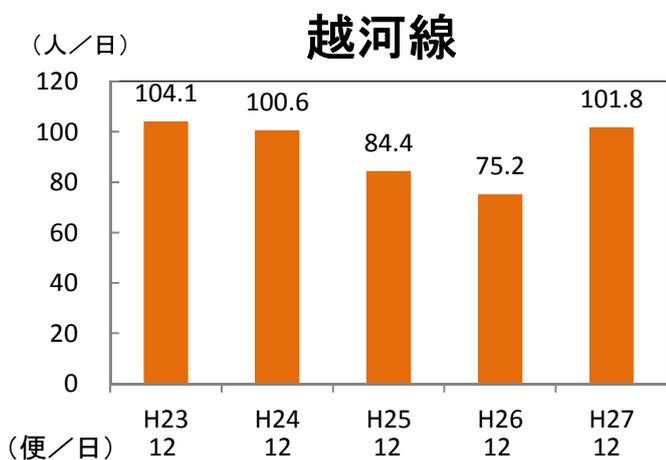


図 市民バスの利用状況の経年変化①

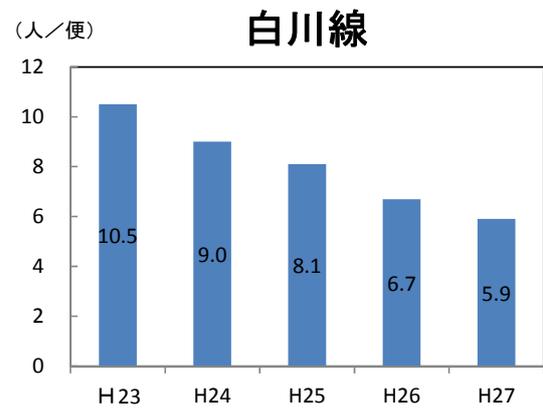
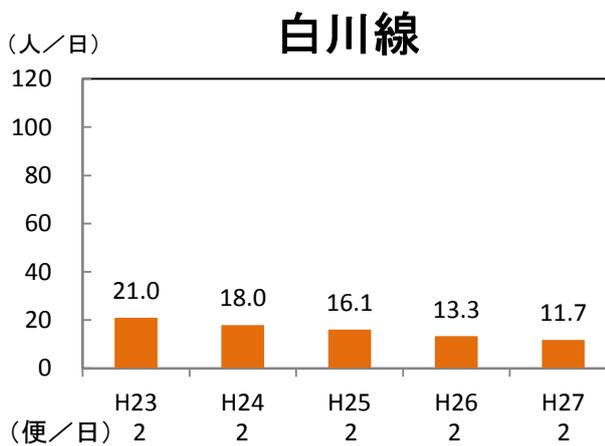
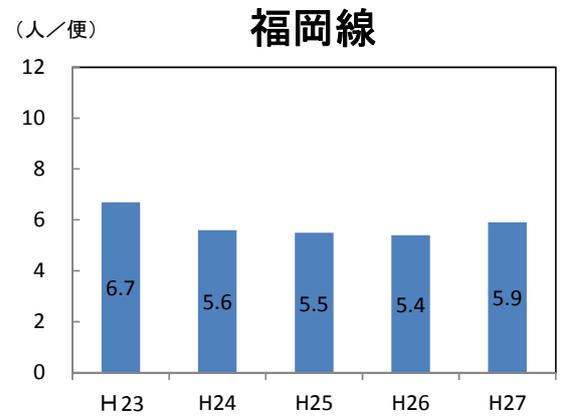
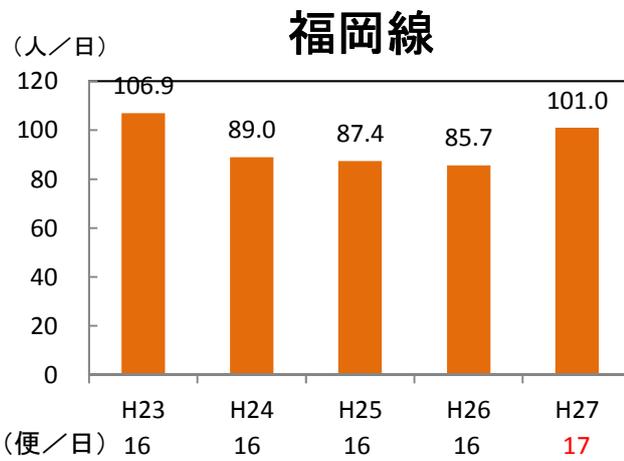
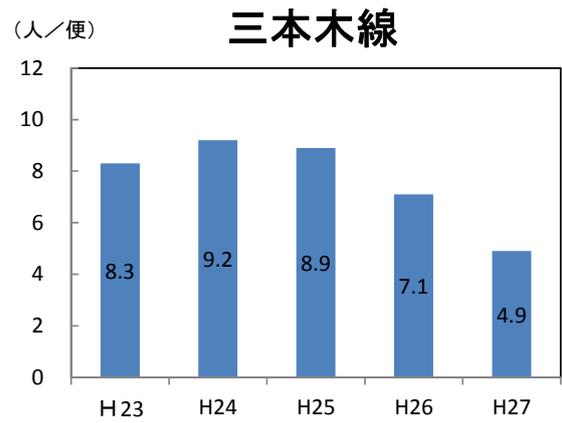
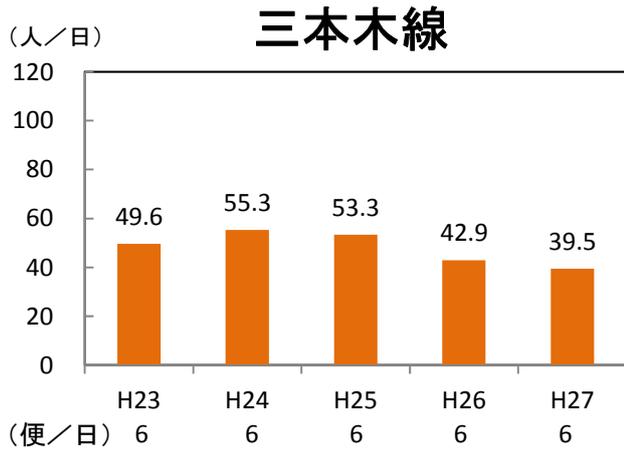


図 市民バスの利用状況の経年変化②

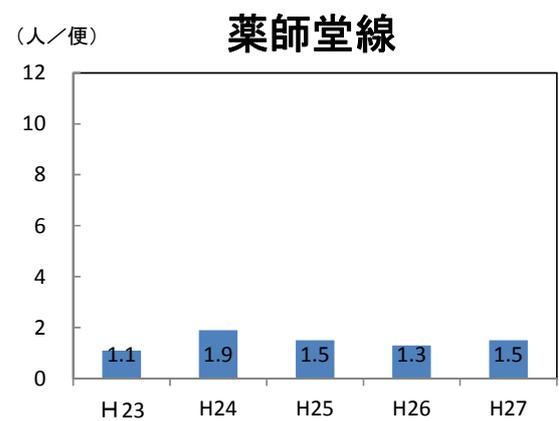
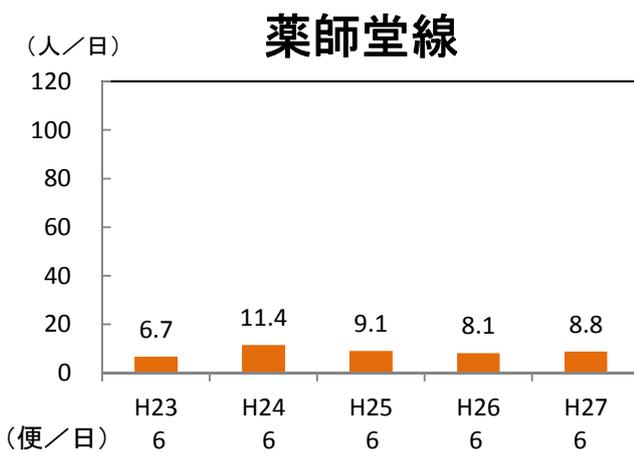
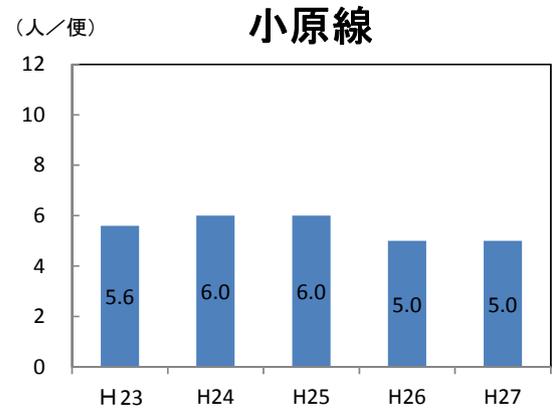
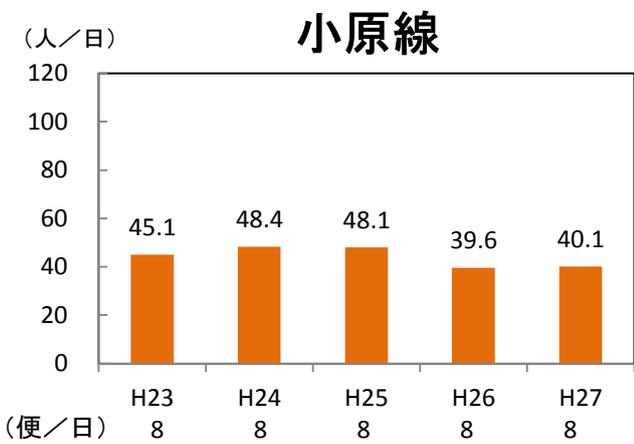
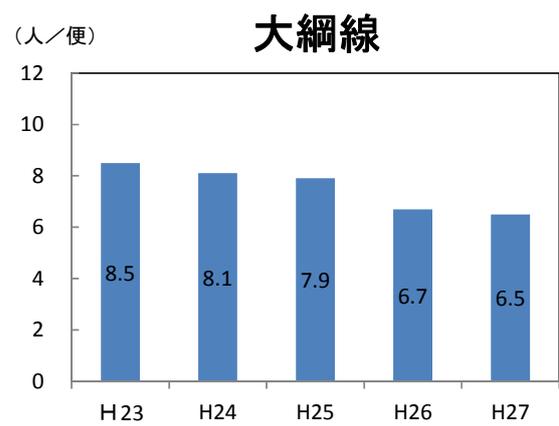
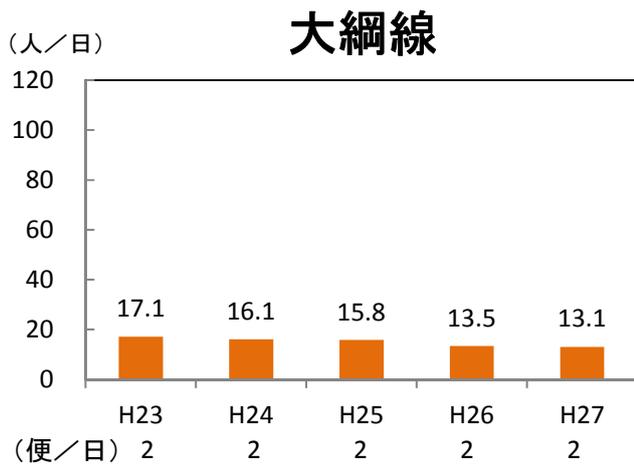


図 市民バスの利用状況の経年変化③

【参考】

- 「公立刈田総合病院」は、白石市と周辺2町で運営を行っている、最も大きな総合病院であり、年間約5.4万人の外来患者、約2.6万人の入院患者が利用しています。
- 公立刈田総合病院と白石駅を結ぶ無料シャトルバスを運行していましたが、平成27年3月末に廃止されました。
- 市では、それに代わる代替交通として、平成27年4月から、市民バスの運行を見直し、当院を乗り継ぎ拠点として、①複数の路線で直接乗り入れること、②他路線においても城下広場から同一運賃（200円）で乗り継ぐ事ができるよう改善を行いました。
- 見直し前後の利用状況では、①直接乗り入れ路線では、大きく増加傾向となっていますが、②乗り継ぎ路線では、減少傾向となっています。

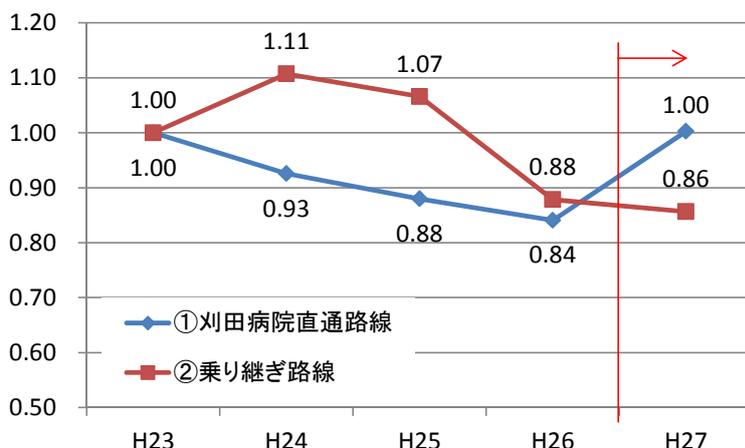


図 公立刈田総合病院シャトルバス廃止による市民バス見直し前後の利用状況

**白石市民バス（きゃっするくん）の運行路線・ダイヤ等を見直しました。**

市民バスは、平成17年4月からの運行開始以来、市民の皆さまの日常生活の足としてご利用いただいているところです。

この度、地域や利用者ニーズを踏まえ利便性の向上を図ることや刈田病院シャトルバスが廃止されたことなどから、下記の通り運行路線、ダイヤなどの一部変更を行います。詳しくは、別冊「白石市民バスマップ」をご覧ください。

◆変更日：平成27年4月1日（水）から

◆改正のポイント

- 1. 越河線、白角線及び大張線の延伸**  
越河線、白角線及び大張線の起点・終点を、「城下広場停留所」から「刈田病院停留所」にします。  
ただし、越河線下り1・6便、上り5・6便、白角線下り1・2・5便、上り1・3・5便、大張線下り1・5便、上り4・5便の起点・終点は「白石駅停留所」になります。
- 2. 越河線に西回りコースの新設**  
上り2便目及び下り3便目を市街地西回り運行経路にし、「城南二丁目停留所（こまつ外科内科クリニック付近）」を新たに設置します。
- 3. 福岡線及び三本木線の増便**  
福岡線下り：城下広場停留所 10:30 発 刈田病院停留所 10:41 着  
三本木線下り：城下広場停留所 11:20 発 牧場入口停留所 11:40 着  
上り：牧場入口停留所 11:40 発 城下広場停留所 12:09 着
- 4. 停留所の統合**  
白角線及び大張線の「田町停留所（本町）」を「田町停留所（旧国道4号）」に、越河線及び小原線の「市役所前停留所」を「城下広場停留所」に統合します。

**5. 刈田病院シャトルバス廃止への対応**

刈田病院シャトルバスが本年3月をもって廃止されることから、越河線、白角線及び大張線を刈田病院まで乗り入れし、刈田病院利用者の利便性を確保します。

城下広場	白石駅	刈田病院	路線名
6:48	6:50	6:59	福岡線
7:54	7:56	8:05	越河線
7:56	7:58	8:07	福岡線
8:09	8:11	8:20	大張線
9:05	9:07	9:16	白角線
9:24	9:26	9:35	越河線
9:54	9:56	10:05	福岡線
10:30	10:32	10:41	福岡線
11:45	11:47	11:56	福岡線
12:29	12:31	12:40	大張線
12:39	12:41	12:50	越河線
13:33	13:35	13:44	福岡線
14:52	14:54	15:03	越河線
15:40	15:42	15:51	福岡線
15:44	15:46	15:55	大張線
16:25	16:27	16:36	白角線
17:07	17:09	17:18	福岡線
18:10	18:12	18:21	福岡線

刈田病院	白石駅	城下広場	路線名
7:34	7:44	7:46	福岡線
8:16	8:26	8:28	越河線
9:29	9:39	9:41	福岡線
10:40	10:50	10:52	福岡線
10:58	11:08	11:10	大張線
11:31	11:41	11:43	越河線
12:31	12:41	12:43	福岡線
13:10	13:20	13:22	白角線
13:49	13:59	14:01	越河線
14:16	14:26	14:28	大張線
15:14	15:24	15:26	福岡線
15:18	15:28	15:30	白角線
16:12	16:22	16:24	大張線
16:26	16:36	16:38	越河線
16:30	16:40	16:42	福岡線
17:53	18:03	18:05	福岡線
18:55	19:05	19:07	福岡線

**6. 乗継券制度の創設**

三本木線、薬師堂線、小原線のいずれかを利用し、城下広場から公立刈田総合病院まで市民バスを利用する場合、「乗継券」により城下広場から公立刈田総合病院間が無料で利用できます。（公立刈田総合病院から城下広場まで市民バスを利用し、その後三本木線、薬師堂線、小原線のいずれかを利用する場合も同様です。）

※乗り継ぎできる停留所は、「城下広場」に限ります。

①運賃を支払う際、運転手に刈田病院に行くことを伝える。  
②運転手が乗継券を渡す。

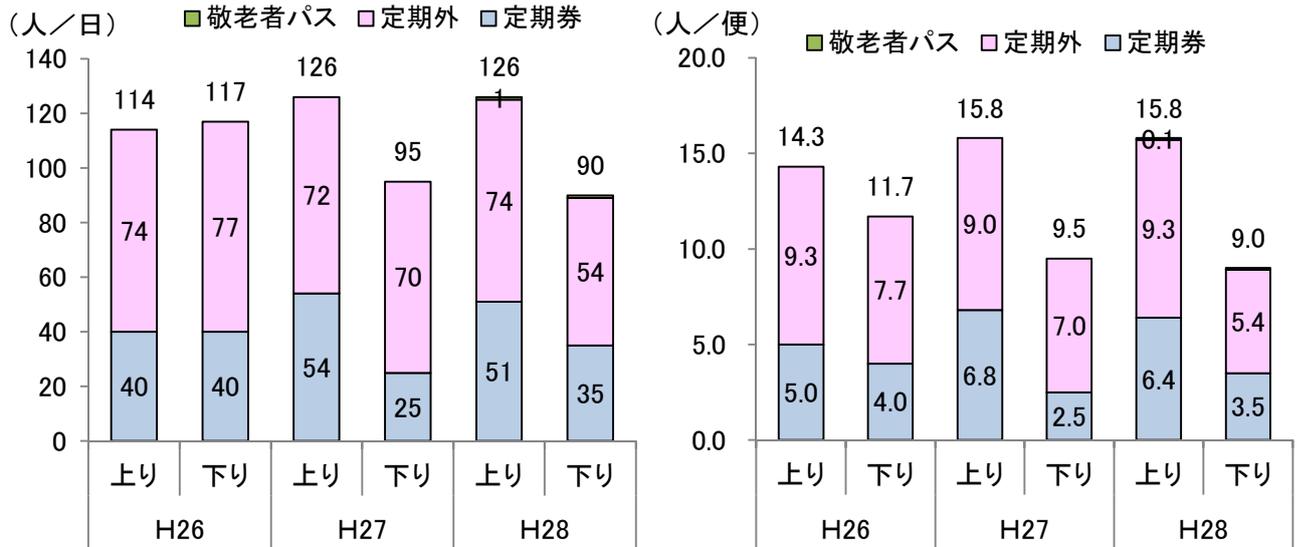
①乗車時に、運転手に三本木線、薬師堂線、小原線のいずれかに乗り継ぐことを伝える。  
②運転手が乗継券を渡す。  
③運賃を支払う。

※1：城下広場から刈田病院までの間で途中下車では、乗継券は使用できませんので所定の運賃をお支払い下さい。また、刈田病院から城下広場までの途中から乗車した場合、乗継券は発行いたしませんのでご了承願います。

図 公立刈田総合病院シャトルバス廃止による市民バス見直しの広報資料

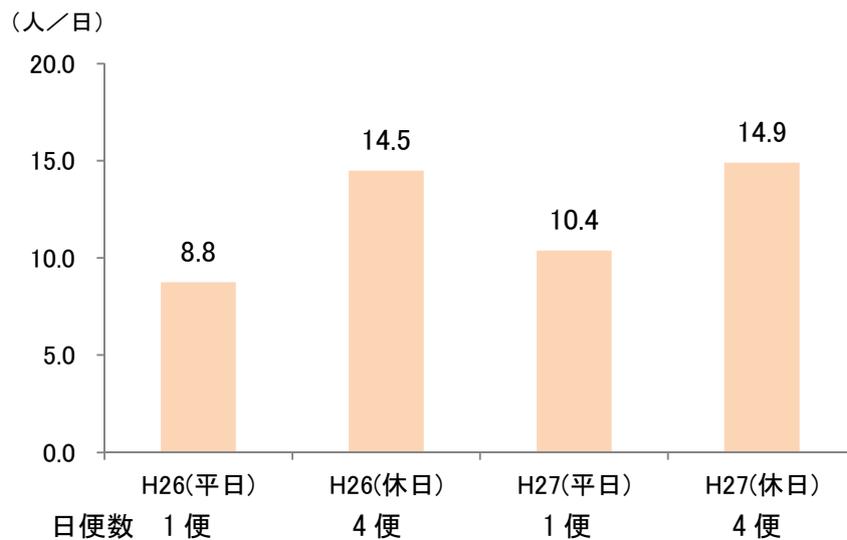
## (2) 事業者路線等

- (株)ミヤコーバス（白石蔵王～遠刈田温泉）の利用者数は上り（白石蔵王駅行き）が1日あたり約130人、下り（遠刈田温泉行き）が約90人となっており、1便あたりにすると上りが16人、下りが9人となっており、近年は下り方向の利用者数が減少しています。
- スパッシュランド無料送迎バスの利用者数は平日が約10人、休日が約15人となっています。



日便数 上り（白石蔵王駅行き）：8便、下り（遠刈田温泉行き）：10便

図 (株)ミヤコーバス（白石蔵王～遠刈田温泉）の利用者数



※乗車人数はスパッシュランド方向のみ集計

※休日4便目（白石駅14:20発）は乗車人数未確認のため乗車人数に含まず

図 スパッシュランド無料送迎バスの利用者数

### (3) 乗合タクシー

- 乗合タクシーの利用者数は緑が丘線が1日あたり約18人、1便あたり約5人利用しており、平成24年以降は減少傾向となっています。
- 小久保平線については、1日あたり約4人、1便あたり約2人利用しており、平成25年度、平成26年度は利用者数が増加したものの、平成27年度は減少に転じています。

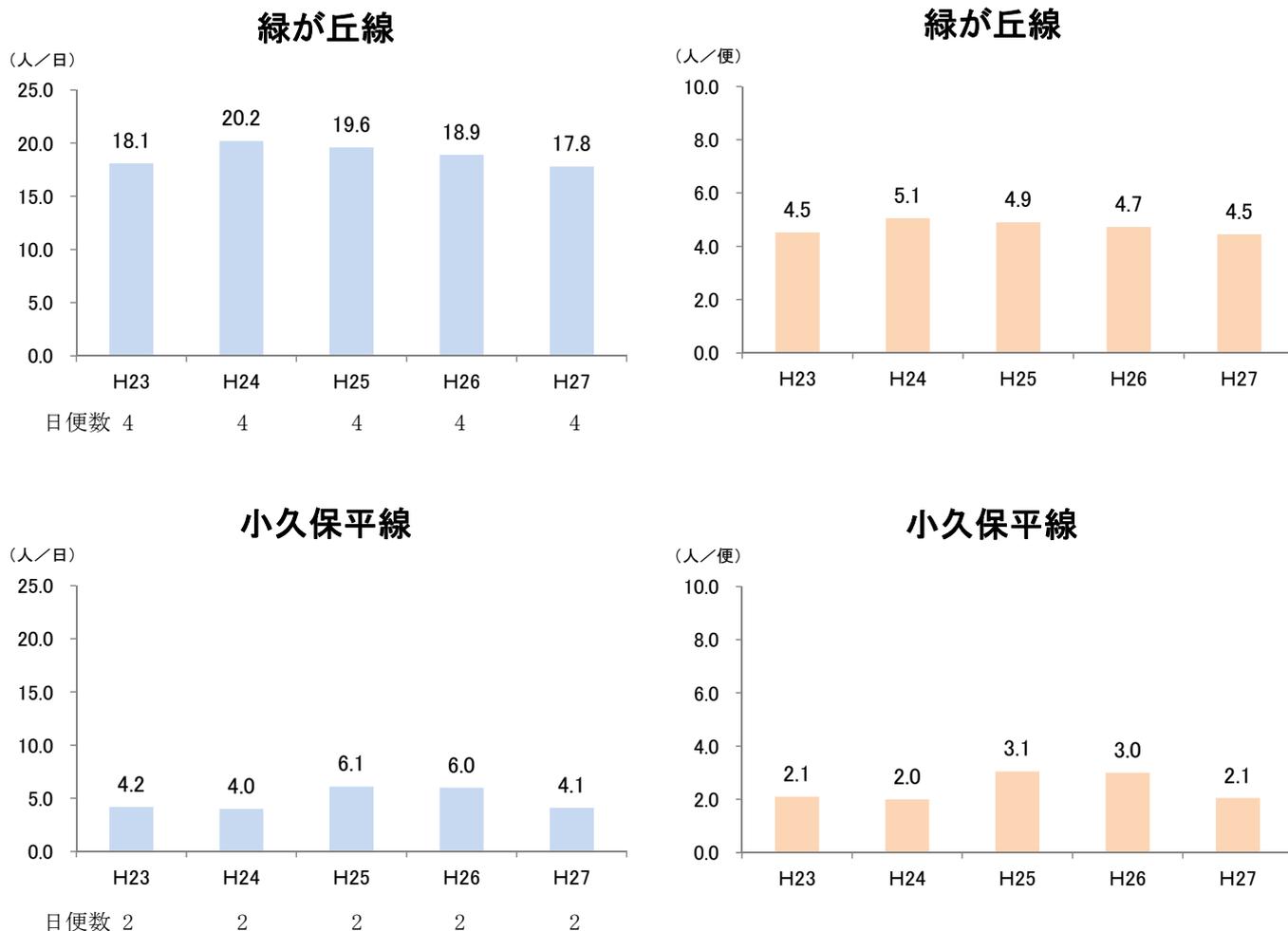


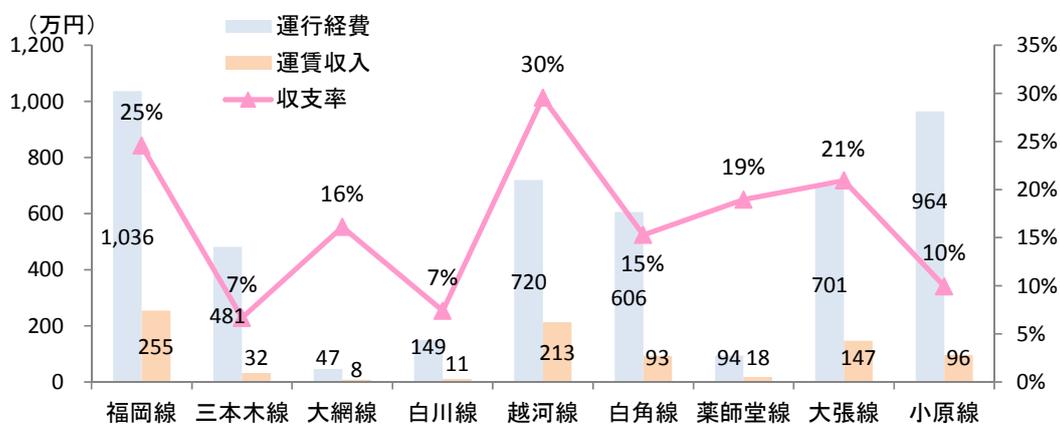
図 乗合タクシーの利用者数

#### (4) 路線バスの収支状況

○市民バスの収支率は、全体で18%となっており、収支率が比較的高い路線は、越河線(30%)福岡線(25%)、大張線(21%)となっており、小原線は福岡線に次いで経費がかかっているわりに運賃収入は少なく、収支率は10%と低い状況です。

表 市民バスの収支状況(平成27年度)

番号	路線名	運行経費				合計	運賃収入	収支率
		市負担金	宮城県補助金	丸森町負担金	電源立地地域対策交付金			
1	福岡線	10,114,776	249,000			10,363,776	2,545,300	25%
2	三本木線	2,907,878			1,900,563	4,808,441	319,600	7%
3	大綱線	282,953			184,936	467,889	75,400	16%
4	白川線	900,411			588,501	1,488,912	110,100	7%
5	越河線	4,780,066			2,417,000	7,197,066	2,126,400	30%
6	白角線	5,420,155	78,000	566,000		6,064,155	927,000	15%
7	薬師堂線	924,989	16,000			940,989	178,300	19%
8	大張線	5,014,144	106,000	1,885,000		7,005,144	1,467,700	21%
9	小原線	9,578,068	66,000			9,644,068	959,200	10%
合計		39,923,440	515,000	2,451,000	5,091,000	47,980,440	8,709,000	18%

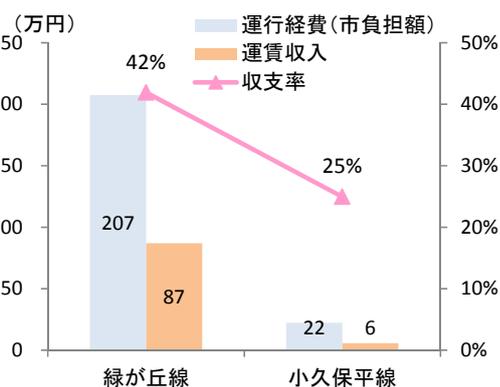


#### (5) 乗合タクシーの収支状況

○乗合タクシーの収支率は、緑が丘線が42%、小久保平線が25%となっており、全体で40%となっています。

表 乗合タクシーの収支状況(平成27年度)

番号	路線名	運行経費等(市負担額)	運賃収入	収支率
1	緑が丘線	2,073,300	868,800	42%
2	小久保平線	222,600	55,500	25%
計		2,295,900	924,300	40%



## (6) 市内の公共交通のカバー圏域

- 市内には東北新幹線、東北本線、市民バスが運行しており、それらは軌道や道路の幹線を通行しているため、駅やバス停からの距離があり、便利に利用できない地区も存在しています。
- 交通空白地域は斎川地区、越河地区、大鷹沢地区、大平地区に多く存在し、白川地区、福岡地区にも若干存在しています。

